



戦争法反対の意思表示をしよう・・・

戦争法を衆院で可決

七月十六日、自公は戦争法を衆院で可決。百時間余り審議したと云うが十本の法律の改定なので、一つ十時間の審議に過ぎない。

公聴会では与党推薦の公述人でさえ違憲と述べた。自公政権が合憲と云うなら、違憲という公述人を論破しなければならぬ。少なくとも過半の憲法学者が「それなら合憲」と云う位に・・・しかし、自公は「公述人の意見は聞きおく」のみ。

先ず米国議会で約束

国の法律に従って、国会の議決に基づき、外交交渉をするのが政府の義務。しかし、安倍首相は四月末に「米国の求めに応じて世界派遣する」戦争法を夏

までに国会で成立させると米国議会で約束。八割が反対の国民には向き合わない。

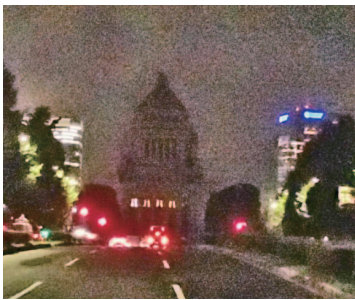
戦争法反対の若者を応援しよう

衆院で可決はされたが参議院での審議がある。七月十一〜二日の朝日新聞の世論調査では内閣支持率は39%、不支持率は42%。強行採決で更に下がっているだろう。

戦争法反対集会や行動に参加し、その様子を周りに報告し、あるいは、戦争法の危険を広めよう。そうすれば、安倍内閣支持率がどんどん下がる。自公も安倍路線を走れなくなる。「戦争の党、公明党」と皆が云うのだ。その時、戦争法案は廃案になる。みなさんはどう思われますか？

国会議事堂前

東京都千代田区
二〇一五年七月



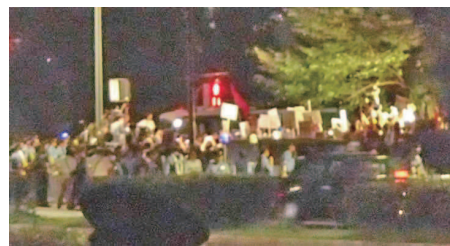
7月16日の国会議事堂正門



7月14日の衆議院議員会館前



7月16日の国会前で抗議する人々



SEALDs (7月16日の国会正門前)

七月十四日の午後、衆議院議員会館前は百人が座り込んでいた。猛暑にも拘わらず・・・子供の未来を案じる母親。日本山妙法寺の僧達。

夕方日比谷野外音楽堂での「戦争法案廃案！強行採決反対！七・一四大集会」があった。

七月十五日には遂に衆院特別委員会でも自公により強行採決。「戦争させない・九条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「SEALDs」(自由と民主主義の為に学生緊急行動)の下に六万人が国会前で抗議。

七月十六日には遂に衆院本会議で、民主、共産など五党不在のままでも可決された。

これに抗議して七月十六日にはお昼から国会前で抗議行動。夕方からは主催がSEALDsに代わり、続々と若者が集合してきた。